

平成26年度
2月補正予算(案)のポイント

平成27年2月3日

平成26年度2月補正予算(案)のポイント

1 予算(案)の規模

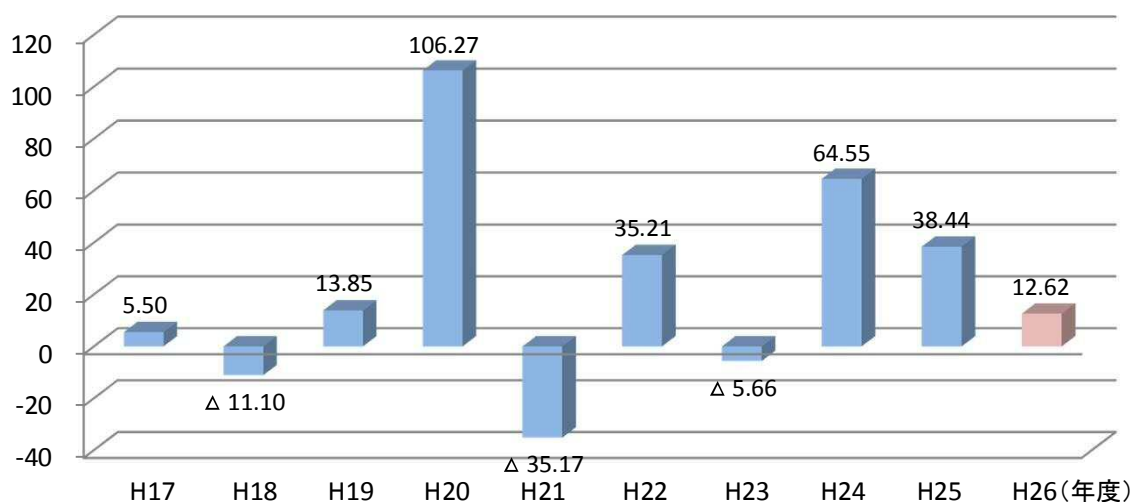
- ★ 補正予算の規模は、一般会計が約12億6千万円の増額、特別会計が約11億3千万円の増額、企業会計が約9億8千万円の減額で、総額は約14億1千万円の増額。
- ★ 今回の補正予算は、国の緊急経済対策に呼応した事業の経費として約5億3千万円を計上。
このほか、一般会計では、扶助費の増により1億4千万円の増額、平成27年度以降の財政需要に対応するため、財政調整基金の積み立てに要する経費を14億円増額するほか、人件費を約13億2千万円減額。
- ★ 特別会計では、主に清掃工場発電事業会計において売電収入の増により繰出金等を約9億2千万円増額したほか、介護保険事業会計において決算見込みにより保険給付費等を約5億6千万円増額。
- ★ 企業会計では下水道事業会計において国庫補助事業の減により約13億3千万円減額したほか、病院事業会計において医業収益の増に伴う材料費等を約10億6千万円増額。

(単位:千円)

区分	平成26年度 2月補正予算額	平成25年度 2月補正予算額	増減額
一般会計	1,262,324	3,844,308	△ 2,581,984
特別会計	1,125,046	△ 508,225	1,633,271
企業会計	△ 975,153	1,052,510	△ 2,027,663
合計	1,412,217	4,388,593	△ 2,976,376

一般会計2月補正予算額の推移

単位:億円



※平成20年度以前は、合併前の各団体の数値を合算したものである。

2 予算(案)の財源

- ★ 特定財源としては、主に国の緊急経済対策などに伴う国庫支出金や市債を活用。
- ★ 一般財源としては、増収が見込まれる市税、地方交付税、平成25年度の決算剰余金(繰越金)などを財源とした。

3 主要事業のポイント

(A) 国の緊急経済対策への呼応

527,395 千円

★ 国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に対応して、防災・安全対策等を加速させる事業等を増額。

(単位:千円)

事業名		主な概要	金額
1	津波避難施設整備事業 (財源:国補助金2/3、市債)	津波避難施設整備 2基 新設 ・清水区三保	160,000
2	清水港整備事業負担金 (財源:市債)	県港湾整備事業の増による負担金の増額 ・新興津人工海浜・緑地整備、小型船だまり整備	14,000
3	海岸保全施設整備事業 (財源:国負担金1/2、市債)	用宗沖離岸堤の築造	100,000
4	公園整備事業 (財源:国補助金1/2、市債)	津波避難地としての公園の整備 ・忠霊塔公園(清水区駒越地区)	70,000
5	非常備消防庁舎施設整備事業 (財源:国補助金1/2、市債)	消防団施設の建設及び解体 ・静岡第27分団支部(葵区産女)等3施設	154,269
6	防火用井戸整備事業 (財源:国補助金1/2、市債)	防火用井戸の新設 ・葵区郷島 1基	7,000
7	防火用貯水槽等整備事業 (財源:国補助金1/2、市債)	防火用貯水槽の新設 ・駿河区有明町 1基	13,876
8	青年就農促進事業費助成 (財源:県補助金10/10)	認定新規就農者に補助金を交付	8,250



津波避難施設の例(清水区三保)



清水港(新興津)の航空写真 ※清水港湾事務所撮影
(赤く囲った部分が整備箇所)



用宗沖離岸堤(駿河区石部)



忠霊塔公園(清水区駒越地区)の状況



静岡第27分団支部(葵区産女)



新規就農者の研修の様子